

県連のスケジュール

10月		11月		12月	
1	土	1	火	1	木
2	日	2	水	2	金
3	月	3	木	3	土
4	火	4	金	4	日
5	水	5	土	5	月
6	木	6	日	6	火
7	金	7	月	7	水
8	土	8	火	8	木
9	日	9	水	9	金
10	月	10	木	10	土
11	火	11	金	11	日
12	水	12	土	12	月
13	木	13	日	13	火
14	金	14	月	14	水
15	土	15	火	15	木
16	日	16	水	16	金
17	月	17	木	17	土
18	火	18	金	18	日
19	水	19	土	19	月
20	木	20	日	20	火
21	金	21	月	21	水
22	土	22	火	22	木
23	日	23	水	23	金
24	月	24	木	24	土
25	火	25	金	25	日
26	水	26	土	26	月
27	木	27	日	27	火
28	金	28	月	28	水
29	土	29	火	29	木
30	日	30	水	30	金
31	月			31	土

事務局長会議報告

9月13日

出席会 川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、横浜こぶし、藤沢山の会、小田原ナーゲル、相模労山、みずなら、久良岐HC、さがみ山友会、こまくさHC、カモの会、雪童、地平線、やま++ 以上16会

県連からの報告： 理事会の報告。

活動報告 小田原ナーゲル：電車につり広告、10/23に箱根クリーンハイク実施。

川崎柴笛：10/29,30に奥多摩で柴笛祭実施。

遭対会議開催のお知らせ

以下の内容で遭対会議を開催します。会の代表者の方々の出席をお願いします。

日時 11月1日(火) 19時~21時 場所 神奈川県民センター304号室

内容 事故発生時の対応について。県連、警察等への救助要請の実際、過去の事例。

連盟ニュース

249

神奈川 10

2005.10.11



2005年9月11日・県連定期理事会報告

全国自然保護集会ニュース9月

登山祭典・労山フェスタ報告

見晴茶屋廃材おろしボランティア募集

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

県連のスケジュール

事務局長会議報告

遭対会議開催のお知らせ

2
3
4
5
6
8
8
8

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
発行責任者 中山 建生 編集責任者 村松 勝
TEL/FAX 045-434-2726 http://www.k-rouzan.net/

2005年9月11日・県連定期理事会報告

2005.9.12 神奈川県勤労者山岳連盟理事長 中山 建生

9月11日午後1時より5時・川崎市総合自治会館にて表記の理事会を開催する。理事29名中23名出席、欠席連絡1名。議長 加藤正敏、副議長 入木実文、書記 三上茂を選出。

冒頭に提出議案の認定委員会規定の追加、改定の理由（講師活動中の講師の態度に関する点と個人情報の取り扱い）を説明する。また、連盟員の権利と義務について会則や連盟の規約を理解した上で会員に正しい認識をもたせるように注意を払ってほしい旨を伝えた。

議長団を選出し、理事会を開催、各部長より3月理事会以降の活動報告、財政報告を行ない、2件の死亡事故の概要とクライミング中の事故について報告するとともに事故防止、安全登山の追求に力をいれるように要請した。

9月5日の拡大常任理事会で、藤沢山の会会員の北薬師岳事故は、太田会長からの事故原因に関わる2点を報告された。ひとつは視界を遮る日除けを着けていたこと、もうひとつは登山を安易に考える傾向にあることとされた。事故につながる事実に基づく原因の解明が具体的でなかったため後日調査の報告を求めることにした。

こぶし山の会会員の甲斐駒での事故は単独で事故につながる原因を推定することになるが、連盟からの捜索救助隊が現地との関係で思うように動けなかったことなど事故そのものより活動の教訓が報告された。これに関しても前記事故と同様今後の教訓とすべきことについて再度報告したい。

捜索救助の要請や現地での対応など、改めて会、連盟で基本的な確認を求めたい旨の提案があり、11月1日にこのための会議を開くこととした。

教育部と遭難対策部の予算外支出につき、連盟の予算の組み替えを考えていたが、財源に余裕がないため組み替えできずとなった。代わりに教育部の支出10万円については緊急積立金を崩して立て替え支払いとし、テキストの売り上げ分を積立金に戻すこととした。

今後の活動にあてる財源規模は限界で、理事長からは値上げが事業活動の収益を充てるしかないとの意見に対して、連盟員の拡大に力を入れるべきとの指摘があり、具体的には連盟加盟の訴えと加盟に関わる約束事、条件など予め広報しておきたいとの提案を了承した。

自然保護憲章については連盟員の関心が薄く、担当委員会での学習を進めているが、今年度の愛知の集会までに神奈川の意見をまとめておく必要がある。前述した救助隊を独立させるため、連盟の基本的な考え方を示すとともに、現実的な対応と能力が問われるため、また他の関係団体との折衝など、従来の経験や新たな情報を全体のものとする必要在りとされた。

連盟より提案した具体的な規定や構成などは来年の3月総会での検討資料として提出した。

湘南労山とグループフォレストの連盟費の滞納、連絡、会議の参加なし状態につき、7月に連盟の活動に参加する旨と未払いの連盟費の支払いを求め、支払いと活動参加の意思がないなら理事会で除籍の提案をする旨を合わせ通知をした。財政担当者からのこれまでの何回もの連絡にこたえず放置されている状況を報告され、連盟員としての責務を果たさずしないため規約に基づき、この理事会で除籍の決定をした。

認定規定の追加に関しては、講師の態度と発言の内容を関係者から報告し、社会的に容認されない態度や発言は問題とされとした。教育部の活動やハイキング委員会の活動、また連盟の社会的な活動のなかでは十分な注意と配慮が必要である旨、認識を改めてほしいこと、講師の再登録など教育研修を行うことの報告もされた。提案した規定の改定を了承した。

11月1日に予定される事故発生と会、連盟の対応、過去の事故例と救助隊派遣、活動の内容について共通の認識をはかることを目的とする。会の三役を招集対象とし、捜索救助に関わる人たちの参加を求めこととした。連盟の救助要請規定、救助活動心得、救助活動に伴う法的、社会的責任などは後日資料を配布する。

この定期理事会は来年の総会につながる重要案件の討議をなした。理事会終了後、15名程の理事の参加で自由討論と懇親会を持った。昔の登山界の空気を知る人たちには講師の暴言やセクハラ、威嚇するような態度が窮屈のように感じられたようだ。理事の内、健康に問題を抱えている人たちが多くて、老人病の話に盛り上がりがあったが、これは後継者への引継ぎに大きな障害を抱えることを知らされた。組織の活性化や新たな展開を望むときには、人事の刷新と将来展望を語る人材を確保し、育てることを要求される。

連盟の将来は連盟員のひとりひとりの問題であることを改めて訴えたい。

<p>川崎勤労者山岳会 報告：佐々木利江 計57名 (男35 女22) 平均40歳</p>	<p>9月2-3日 ナルミズ沢(5) 3-4日県救助隊(5) 4日登真名井沢(9) 10日小坂志川(3) 16-18日南ア白峰三山(3) 16-19日労山7エタ(3) 北岳・ハッルス(2) 18日源次郎沢(9) 他14の山行 10月1~2日登)岩・三つ峠 8-10日小川山 奥穂、22-23日烏帽子岩南稜 12日登)机上・救急法 19日運営委員会 26日例会</p>
<p>やま+ 報告 柴田 勇作 計10名 (男7:女3) 平均47歳</p>	<p>9月 4日 お試し山行/奥多摩・高水三山(5+1) 10日 RCT鷹取山(4) 11日 RCT広沢寺(5) 14日 勉強会 百合丘(初歩からの気象)(10) 17~19日 北ア・西穂~奥穂(2) 17日 乗鞍県界尾根(3) 18日 南ア・笹山~入山 23~25日上越・荒島岳~大日岳(1+1) 28日例会 百合丘(秋の星座)(10+2) 10月 1日 新人勉強会・丹沢山岳センター(9+2) 2日 新人教育山行・塔ノ岳(7+2) 4~5日東北・岩木山~八幡平 8~9日 南ア・笹山10~11日 東北・焼石連峰 12日 勉強会・百合丘(読図/山のいろいろ) 16日 中央線沿線の山 23日 上越・未丈ヶ岳 26日 例会・百合丘(山の計画/冬山)</p>
<p>アルパインクラブ横浜 報告 熊谷博美 男性(23)人 女性(19)人 計(42)人 平均年齢(37.4歳)</p>	<p>9月 9/3 北上山地(1他17), 9/3 小川山(4), 9/3 丹沢大野山(2他6), 9/3 鷹取山(2), 9/3 雲取山トレイルランニング(1他4), 9/3-4 救助隊合同訓練(6), 9/4 丹沢塔ノ岳(1), 9/4 丹沢トレイルラントレーニング(1), 9/4 丹沢源次郎沢(1他5), 9/4 蔵王山(1), 9/9 丹沢大室山(1), 9/10 美瑛岳~富良野岳(1), 9/10 天王岩(2), 9/10 牛奥ノ雁ガ腹摺山(1他1), 9/10 西丹沢中川川 大滝沢(4), 9/10-11 焼岳~西穂高岳(2), 9/10-11 鳳凰三山(4), 9/10-11 常念岳(1他2), 9/11 オプタテシケ山(1), 9/12 ミズガキ不動沢(2), 9/14 西丹沢不老山(1), 9/17 丹沢(山走り)(1), 9/17 甲府幕岩(2), 9/17-18 前穂北尾根(1他2), 9/17-19 北アルプス赤木沢(2), 9/17-19 北アルプス槍ヶ岳~南岳(1他7), 9/18 奥多摩(長谷川カップ試走)(1), 9/18 日光白根山(1), 9/18 吾妻連峰滑川 大滝沢(5), 9/18-19 ハヶ岳阿弥陀岳 天狗岳(1), 9/19 丹沢勤七ノ沢(2), 9/19 モミソ岩 RCT(3), 9/21-22 雲取山(1他1), 9/23 小川山(2), 9/23 丹沢(1), 9/23-24 富士山(1他2), 9/23-25 南アルプス聖岳(5), 9/23-25 河内風穴(ケービング)(1他4), 9/24 小川山(2), 9/24-25 北アルプス室堂~立山(3), 9/25 尾瀬(2), 9/25 湯河原幕岩(1他1), 9/27 小川山(2),</p>
<p>横浜山楽会 報告 菅野藤雄 (男:13名 女:11名) 計:24名 平均:61歳</p>	<p>9月 2日~5日鳥海山(6名), 23日-24日奥秩父・ナメラ沢 中止, 28日-29日日向山~尾白川溪谷(5名), 10月 4日例会, 10月6日~8日 木曾駒・宝剣(9名), 16日 月例山行 筑波山, 11月 6日 月例山行 塔ノ岳,</p>
<p>こまくさハイキングクラブ 報告 山田日出子 計18名 (男4 女14)</p>	<p>8月21日 バスハイク:飯盛山(18名) 9月11日 箱根長尾峠(11名) 10月2日 三浦半島天神島</p>
<p>久良岐ハイキングクラブ 報告 三上 茂 男性(4) 女性(4) 計 8名 平均58歳</p>	<p>9月 3日室内例会、13-15白馬岳(2) 17-19穂高連峰(1他5) 19高尾山(台風ため中止) 10月 1日室内例会 15-16秋田駒ヶ岳 11月 5日室内例会 27日公開ハイク・丹沢前衛権現山</p>

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

横浜こぶしの会 報告 田辺美由紀 計24名 (男14名 女10名) 平均年齢49歳	8/1,2 甲斐駒黒戸尾根(1)にて遭難事故 8/12 岩木山(会員1、外1) 8/16 事故 検討会 8/22 御嶽山(会員3、外1)中止 8/23 例会 8/28 ハイキングリー ダー学校葛葉の沢(3) 9/3,4 遭対部訓練山行(1) 9/4 塔ノ岳(3) 9/8 例会 9/10 こぶし 祭キャンプ(寄にて18) 11日鍋割(7)滝郷沢(3) 9/13~15 立山三山(会員1 外1) 9/16~18 大行沢(3) 9/19 塔ノ岳 9/22~25 大深沢(4) 9/22~25 槍ヶ 岳(3) 9/23~24 雲取山 9/25 大菩薩峠 9/27例会 10/7~9 甲斐駒黒戸尾根(慰霊登山) 岩トレ 日程未定 10/30 会低山(場所未 定) 10/13 10/25 例会
川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計101名 (男46 女55) 平均57歳	8月20日~21日天狗岳(9) 24日例会(40) 26日~28日北横岳~天狗岳(6) 27日~ 28日二十六夜山(6) 28日葛葉沢(3) 9月4日金時山(10) 10日石割山(5) 10日~11日救急法講習(16) 14日運営委員会 (14) 17日榛名山, 18日大山三峰, 17日~19日登山フェスタ, 21日~22日会津 駒ヶ岳, 22日~25日裏剣, 24日~25日平ヶ岳, 25日高尾山, 28日例会 10月2日経ヶ岳・クリーンハイク, 8日-9日磐梯山・秋山交流山行 12日運営委員会 16 日玉川上水・ウォーキング 21日-22日国師岳-金峰山 22日-23 日女峰山 27日-29 日尾瀬ヶ原 28日鹿倉山 29日-30日七面山, 30日武蔵五日市・陶芸山行
小田原ナーゲル山の会 報告 春日谷	8/27-28 北岳 小太郎山(2), 8/28 モロクボ沢(2) 9/4 鬼石沢(5), 9/11 マスキ嵐沢(4), 9/15 妙高山(1), 9/16 台湾石門山 (1+n), 9/17-18 燕岳(3+1), 9/18-19 赤石沢奥壁中央稜(2+1), 9/18- 21 光 岳(1), 9/18 八海山(3), 9/18 小川谷(1+4), 9/21 雲取山(1+1)
横浜ハイキングクラブ 報告: 池上準子 計61名 (男21:女40) 平均59歳	8月6日-10日荒川三山(6) 13日-16日白峰三山(4) 13日-15日甲斐駒ヶ岳・仙丈 (6) 27日尾瀬・笠ヶ岳(6) 9月15日-19日前穂高・奥穂高・北穂高 24日-26日越後駒ヶ岳・平ヶ岳 10月2日奥多摩・三頭山 6日-7日蓬峠 8日-10日鳳凰三山 14日-16日甲斐 駒ヶ岳・仙丈 22日-23日唐松尾根・笠取 29日足和田山
相模勤労者山岳会 報告 藤田耕市 計40名 (男25:女15) 平均51.8歳	9月2-3日モチコシ沢(3) 2-5日大深沢-葛根田川(4) 3日水無川本谷(1)、3-4日湯 曾川本谷(4) 3-4日小川山(2) 3-4日御正体山(4)、10-11日小川山(3) 10-11日 笠取山(9) 10-11日燕岳・大天井岳(1)、13-15日比叡山(1) 14日第1例会 15 日男体山(7)、15-19日北鎌尾根-槍ヶ岳-大レット(1) 16-19日御神楽沢(2)、17-19 日小川山(2) 17-19日小川山-登山フェスタ(2)、17-19日酒沢・屏風岩の頭(3) 18日 滝小山(2) 21-22日白神岳・岩木山(1)、22-24日三の沢岳-宝剣岳-駒ヶ岳(1) 2 2-24日常念岳-蝶ヶ岳(3)、23-24日天狗-硫黄-赤岳-阿弥陀(1) 27日第2例会, 3 0-10月2日阿武隈川南沢, 10月4-6日奥只見・きのこ山行 12日第1例会
みずなら山の会 報告 小川眞澄 計33名 (男20名 女13名) 平均年齢53歳	9月2日-4日奥の深谷・白滝谷(1他) 3日広沢寺(6)、3日-4日一の倉沢衝立岩(4), 4日鷹取(5), 9日-11日東黒沢・ナルミズ沢(2)、11日鷹取山、17日-18日奥多摩, 1 6日-19日酒沢・奥穂(1)、16日-19日笠ヶ岳・槍(1)、17日-19日ハヶ岳(3), 17日-1 9日北岳パットレス(8)、18日鷹取(2)、23日-25日大台ヶ原・大峰山(3), 23日-25 日雨飾山・黒姫山(2) 10月30日-2日鹿島槍(2)、広沢寺、8-9尾瀬、8-10月山、15日-16日磐梯朝日, 29日 -30日西丹沢・みずなら祭り、30日県連確保トレ
藤沢山の会 報告 清水 守 計98名 (男41:女57) 平均59歳	9月 3日 三つ峠・花観察(15)、3日 日光太郎山(2)、17-18日 新茅・モミソ沢(8)、 17-19日 登山フェスタ(12)、27日 富士見峠(3)、27-28 仙丈岳(2)、他10山行 10月 8-9日 北八ヶ岳・教育テント、12-13日 男体山・会ハイク、15-16日 三つ 峠・岩トレ、15-16 横岳・蓼科山、22日 源次郎・沢トレ、23日 大山・クリー ンハイク、

日時 / 05年11月19日~20日 会場 / 愛知県瀬戸市・愛知県勤労者研修センター

第13回全国登山者自然保護集会 準備ニュース

2005年9月 / NO. 7 愛知県勤労者山岳連盟 TEL・FAX052(323)

登山フェスタで訴え。11月にはぜひ愛知へ!

9月17日から3日間、山梨の清里で開かれた登山フェスタは大盛況でした。北海道から宮崎まで36都道府県連盟から500人余の仲間が参加、有意義な集いとなりました。

愛知県連盟は、洞井理事長を先頭に6つの分科会をまわって、11月愛知で開かれる全国登山者自然保護集会への参加をお願いしました。「私は必ず行きます」「うちの県では 名ぐらい参加する」など、多くの方々からご返事をいただきました。

愛知県連盟は、万全の態勢をもって全国の仲間をお迎えしたいと決意しております。



みんなで考えよう!登山者と自然の新しい関係を

愛知県連盟が登山フェスタでみなさんに訴えた内容は、次のとおりです。

『全国のみなさん、登山愛知連盟です。

やれ中部国際空港開港だ、やれ「愛・地球博」だ、やれトヨタだ、と春から騒がしい愛知で、今年11月19日~20日に第13回全国登山者自然保護集会が開かれます。

今回の集会は、テーマに「登山者と自然との新しい関係づくり」を掲げました。私たち登山者は30年以上にわたって自然保護の活動に取り組んできましたが、確実にかつての山はもうかつての山ではなくなってきています。登山者の意識や、山への姿勢、登り方も少しずつ変化してきています。このような状況を踏まえ、これまでの自然と私たち登山者との関係を見直し、登山者と自然との新しい関係づくりを考えようというのが狙いです。「自然保護憲章」をつくるということは、登山者がこれからの自然との関わり方を自ら律していくということですから、そう簡単に結論が出せるものではないと考えています。それだけに、多くの地方連盟での意見をもち寄って、あーでもないこーでもない、どーするこーする、という話しができる場が必要でしょう。

愛知県連盟は、この集会を本当に全国集会と呼べるものにしたいと考えて準備をしてきました。全国各地からの仲間の参加をお待ちしています。愛知でお会いしましょう!』

発言は、文書でもご用意を

19日午後の自然保護憲章の提案をうけ、20日午前に6つの分科会が開かれます。

多くの方々の活発な発言が期待されます。しかし、時間の制約があり、すべての希望者が発言できるとはかぎりません。このため、口頭で発言ができない場合に備え、文書での報告をご用意くださるようお願いいたします。

19日(土)12:00~ 受付

13:00~17:00 全体集会(憲章案の説明、地方の報告、記念講演)

19:00~ 交流

20日(日)9:00~11:00 分科会

11:00~12:00 全体集会(まとめ)

登山祭典：労山フェスタ

組織部：小竹清子

9月17(土)～19(月) 労山の登山祭典、労山フェスタが八ヶ岳の山麓で開かれました。3日間、心配した台風に災いされる事もなく、色とりどりのテント村には全国各地から集まった労山の仲間、仲間、仲間であふっていました。36都道府県から500人を越える仲間の集まりは1992年に288名が参加した全国経験交流集会以来の大きな集会となりました。

○1日目はそれぞれの県や山岳会に別かれ八ヶ岳本峰、飯盛山、天女山コースを登山しました。夕食後7時より椎名誠さんの記念講演「辺境の食卓」がありました。

○2日目午前は6分科会での討議、午後にはパネルディスカッションそして大交流会が開かれました。

★遭難対策部担当講習会ではMFAインストラクターによる救急法や全国労山救助隊長によるセルフレスキュー技術講習会がありました。

★第1分科会では会運営とテーマに山行企画、山行管理、安全対策、教育、機関紙作り、役割分担などについて討議されました。

★第2分科会「山岳自然と登山者」では自然保護憲章についての説明、討議がありました。時代と共に山岳自然に対する登山者の意識、山への姿勢、登り方などが少しずつ変化してきている事を踏まえた上で、「登山者と自然」との関係性を新たに考えていこうというものが目的です。

★第3分科会「山行活動ー私の登り方」では、海外登山の報告や「黒部・剣での冬季登山報告」そしてアルパインクライミング、山スキー、沢登りの方向性などを報告者と共に討議されました。

★第4・5分科会「ハイキングの会員拡大拡大、事故対策」では各会の取り組み等の報告の後、ハイキングの理想のあり方が話し合われたようです。

★第6分科会「女性交流：女性の広場」は「息長く上り続ける為に」をテーマにインストラクターを迎え「体の変化を乗り切る為のトレーニング」が行われました。普段使われない内筋のトレーニングはとて好評でした。

又画家の熊谷かいさんには、その経験を通し「行き長く山に登り続ける為の秘訣」などのお話を伺いました。

前日の天女山では 写真家の鈴木澄夫さんの(神奈川労山)写真教室、青柳さんのスケッチ教室があり参加者からは好評でした。又アトラクションではアンケート結果にもとづいてヒヤリハットのコントが披露されました。それにしても中高年の女性パワーには圧倒されました。あのパワーが山行活動や会活動に結びつき生かされれば素晴らしいのではないかと思います。欲を言えばこの機会に世代やジャンルを超えた女性の集まりを持ち、率直な話し合いの機会がもてたら良かったと思いました。

○2日目午後は2時からのパネルディスカッションでした。パネラーとして

☆H.A.J理事長の山森金一さん(海外登山や日本の登山界の動向分野担当)、

☆自然保護の研究、専門家の小川潔さん(21世紀の



登山と自然の共存のあり方について)

☆岳人編集長の廣川健司さん(中高年登山を含む登山者全体の動向、時代による登山者の変化を中立な立場から分析)

☆岳人編集部 服部文祥さん(現役登山家の立場から日本のアルパインクライミングの今とこれからについて、また若手クライマーの育成について)

4人の方を迎え話をしました。

○2日目午後の大交流会は5～10まで3部に別けて盛大に行われました。

・▽第1部の山の音楽会は歌声喫茶の創始者青柳常夫さんとその仲間による演奏
・▽第2部はアトラクション交流会で各県から合唱・合奏・フラダンス・篠笛・女性委員会によるヒヤリハットのコントなどの出し物が次々と披露されました。残念ながら神奈川は準備が出来なくて参加しませんでした。

・▽第3部の歌声交流は青柳さんとその仲間の演奏のもと大食堂で歌声が繰り広げられました。ここでは中高年のパワーだけが浮き彫りにされた部分があり、若い世代の人にはあまり受けていない所があったかもしれません。中高年のパワーがここに集結してしまっただけではないかと思われるほどにぎわいでした。28.30分まで時間延長となり、大食堂は歌声が響き渡っていました。久しぶりに全国の仲間と大声で歌い楽しいひと時を過ごしました。

○最終日・19日は分科会の報告と表彰式

2日目のアトラクションと、全国から集まった機関紙が選考委員によって選ばれ第3位までの表彰式がありました。身近な所では「町田グラウス」が選ばれました。機関紙作りもこのような機会があれば作る楽しみも増えるかもしれません。

登山時報も新しく編集長が代わられました。今後の登山時報が楽しみです。

●今回参加して驚いたのは若者があまりにも少ないという事でした。過去に活躍した若者達が大半をしめていました。登山の姿勢、考え方が変わってきている昨今ですが、登山の技術や知識を身に付ける事だけでなく、このような集まりを通して学ぶ事は沢山あると思います。

確かに今中高年が浮き彫りにされ、若い世代の人たちを引きつける為の魅力的なものに欠けていたようには思いましたが、次の世代を担うものとして、集まってみる価値はあったと思いました。何事も出席し、見る、聞く事から始まるような気がします。

今回の参加は、労山の仲間とその活動を見、改めて「組織とは？」と考える良い機会となりました。

最後になりましたが神奈川からは相模労山、川崎労山、アルパインクラブ横浜、カモの会、みずなら、川崎HC、横浜HC、藤沢山の会、地平線、緑星など10団体39名が参加者があり県連からバスを出しました。

この集会に参加された方には感想文を頂き報告集を作る予定をしています。又随時連盟ニュースにも掲載していく予定です。



見晴茶屋廃材おろしボランティア募集

10月15日(土)16日(日)

集合=現地(大倉尾根・見晴茶屋)

申し込み・問い合わせ=山田恵二(090-4747-1019)まで
ご協力くださる方の食事、宿泊代はただ。寝具は小屋にあります。1日のみOK。